

研究計画

研究テーマ	環境と資源：気候変動問題と資源問題に関する日米の対応
代表研究者名	弦間正彦（早稲田大学）
関係研究者名 （大学名）	参加予定の研究者は以下の通りである。 横松宗太（京都大学） 太田宏（早稲田大学） 堀口健治（早稲田大学） 鷺津明由（早稲田大学） Shenggen Fan（International Food Policy Research Institute, Washington, D.C.）, Rodney Smith（University of Minnesota）, Zbigniew Bochniarz（University of Washington）, Harry de Gorter（Cornell University）, Yacov Tsur（Hebrew University of Jerusalem）
<p>研究概要（背景・目的・意義・研究手法の説明を含む）</p> <p>日本と米国においては、温室効果ガスの60%はエネルギー関連から、20%は食料・農業関連から排出されていることから、地球温暖化問題は、エネルギーと食料の安全保障の問題と深くかかわっている。米国の新政権においては、景気浮揚のための積極的な財政政策の一環として、政府予算の重点的配分分野として環境・エネルギー分野を考えている。温暖化ガス削減につながるようなエネルギー技術の開発には、今後多額の資金が重点的に配分されることになるとと思われる。</p> <p>それ以外に新政権は温室効果ガスの排出量を削減する中期目標を設定し、積極的に地球規模の環境問題に取り組もうとしている。さらに、中長期的には、日本、EU諸国、また中国、インド、ブラジルなどの新興国も、経済成長を維持しつつ、温室効果ガスの削減をはかるといふ政策課題に取り組まざるをえない状況になっているが、2010年12月にカンクーンで開催されたCOP16においても、各国が合意する包括的な内容を決定するに至らなかった。日米両国のリーダーシップが継続して期待されている。</p> <p>本研究は、1)気候変動問題への対応と食料の安全保障、2)気候変動問題への対応とエネルギーの安全保障、3)さらに、環境問題と資源問題の具体的な事例として、世界の主要な漁業資源（回遊性のマグロなどの漁業資源）管理レジームを比較検討する。これらの研究はいずれも地球規模の環境と資源問題を扱い、グローバル・ガバナンスの視点からの分析を必要とするのみならず、日米が直面する短期的、長期的政策課題からの分析も不可欠で、最終的に、これらの問題に対する今後の日米の取り組み方についての考察を目的とする。前者の2つのテーマを設定した理由は、気候変動の原因となる温室効果ガス排出量削減に向け2013年以降の取り組みの枠組みを世界が模索している今、温室効果ガス排出量削減が我々のエネルギーおよび食料需給のあり方をどう変えうるかを理解した上で、日米が気候変動問題にリーダーとして取り組むことが必要だと考えたからである。さらに、3つ目のテーマは、再生可能資源の中で代表的な漁業資源をとりあげ、その持続可能な資源の利用を考える上で、日米の果たす役割は大きく、研究の対象とした。</p> <p>期間と実施活動計画案</p> <p>地球規模で発生している気候変動問題は、エネルギー、食料資源の配分ばかりでなく、土地、労働、資本市場を取り巻く経済・社会・自然環境の大きな変化を引き起こしつつある。これについて、経済学、政治学、経営学、社会学などの多角的な視点から、短期の効果、中長期にわたる効果に関して分析を加える。研究グループメンバーのそれぞれの研究分野の手法を用いて、一連の動きが短期、中長期に与える影響に</p>	

ついて前提・仮定を明示化した上で分析する。短期的な動きについては文献のレビューや聞き取り調査を手段として分析をする。中長期的な影響については、経済学の視点からの分析担当者は一般均衡モデルを用いて、シミュレーション分析をする。本研究は、多年度にわたって実施しないとならないだけの包括的な内容を含む。本年度の研究は各研究者が各自担当分野についてのpreliminary resultsを持ち寄っての政策的含意の導入作業が活動の中心となる。今後のエネルギーの安全保障を考える場合に、福島第一原子力発電所の事故は、原子力の利用可能性を再考し、他の再生可能なエネルギーの利用可能性を日米欧において再度探る機会になるであろう。さらに、震災被害からの復興事業と両立させる形で気候変動問題への取り組みを確立する方策についての議論が日本においては必要視される。これらの視点を持って、研究を実施したい。国際的な漁業資源の研究に関しては、地域ごとに設立された国際委員会における合意形成のプロセスを研究の対象とし、日米の政策、交渉アプローチに対する含意の導入をはかりたい。